



syoun
絆



2018 January

No.545

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理 念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います



年頭あいさつ



皆様、新年あけましておめでとうございます。
旧年中はたいへんお世話になりました。今年もよ
ろしく願います。

さて、本年は当院の前身である公立人吉病院が
開院して140年にあたります。西南戦争で大き
な被害を受けた人吉に病院の必要性を感じた住
民のみなさんが一世帯3銭ずつお金を出し合っ
て明治11年11月現地新町に公立人吉病院が誕
生しました。その後、病院は増改築工事を繰り
返し、所轄が国に移譲され名称を変更しながら
も地域の中核病院として140年間生きてきま
した。

住民が安心して暮らせるために必要な信頼
できる病院を自分たちの力で建設した先人達
に改めて

深い敬意を表するとともに少子高齢化により
人口減少が進むこの球磨地域が暮らしやすい
地域であるために当院は医療・介護・福祉の
要となって行政・医師会・住民のみなさまと
共に歩を進めて行きたいと新年を迎え決意を
新たにしました次第です。旧年と変わらぬご
支援ご厚情のほどお願い申し上げます。

本年が皆様にとって良い年であることを祈念
申し上げます。

平成30年元旦

独立行政法人地域医療機能推進機構
人吉医療センター

院長 木村 正美

「ドクターヘリ運航にかかる意見交換会」開催

12月20日 当院にて「ドクターヘリ運航にかかる意見交換会」が開催されました。

熊本赤十字病院より第一救急科 田代尊久先生、救命救急センター 田代寛子看護師、他2名が来院され、運航開始から6年目を迎えるドクターヘリの運行システム、運用のルールの再確認や情報共有などを目的に説明・意見交換会が行われました。

防災ヘリとドクターヘリの役割などの違い、要請から離陸まで約4分、人吉球磨圏域まで20～30分で到着という迅速な搬送が可能であること、疾患ごとの受入医療機関の情報把握し選定していること、フライトナースの活動内容、申し送りが必要なことなどビデオを交えて話をさせていただきました。その後、どこまでの患者の搬入が可能か、搬送の優先順位は、など意見交換も行われま

した。

最後に田代先生から「運航には熊本県を始め各消防署、受入医療機関など多くの協力があり成り立っている、引き続きの協力をお願いしたい」との言葉で締めく

くられました。

当院でも搬入や転院搬送でヘリが年間数十件飛んできています。このような連携を密にし、患者さんの一早い救命に寄与できればと思います。



医療福祉連携室 宮原 由佳

「第10回 KEMAT in 人吉コース」開催！

12月17日「第10回 KEMAT in 人吉コース」が開催され、県内外より受講者の参加がありました。KEMATとはKumamoto Emergency Medical Assessment and Triageの略となり、熊本の救急隊が中心のコース設計および運営を行っています。本コースは病院前の救急現場において「一見軽症に見えても実は緊急疾患」を見逃さないことを主眼としており、シミュレーションを通して観察・問診・伝達を実践し学んでいきます。（詳しいコース内容はKEMATホームページをご覧ください。）



【参加者の声】

KEMATを受講し、問診要領、観察要領及び伝達要領を学びました。内容は、実技がメインで「現場で多く遭遇する訴え」を想定したシミュレーションであり、何度も経験したことのあるものばかりでした。現場経験が長くなればなるほど「パターン認識」しがちであり、私自身も軽症キーワードに惑わされ、見落とししていたかもしれないと痛感しました。これからは、この講習で学んだことを即現場に活かし、地域住民の安心安全を守るため、日々、自己研鑽に努めていきます。

人吉下球磨消防組合 救急救命士 前田 敬之

救急隊がメインの研修でしたが、ERでの看護も患者さんの初期評価、問診、伝達などを行いました。そうした実技が充実して大変勉強になりました。また、インストラクターの方々から細やかな指導を受けました。今回学んだことを活かして、致命的な救急疾患を見逃さないようにしていきたいと思っています。

救命救急センター看護師 松岡 まゆみ

チームで支えるがん治療

Vol.6 - 化学療法室 -

当院化学療法室のスタッフは、点滴による抗がん剤、内服抗がん剤やホルモン療法、緩和ケアを受けられている方々に関わらせていただいています。早期から緩和ケアを受けてもらうため、医師、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカー、臨床心理士など多職種で治療を受けら

れる方の苦痛の緩和を図っています。がん治療では対象者を「total pain」として捉え、身体的、精神的、社会的苦痛をアセスメントし支援することが大切と言われています。

当院では、多い日で15名の方が化学療法室を利用しています。化学療法を受ける方々に対して起こる副作用は千差万別であり、私たちスタッフはそのtotal painを最小限に抑えられるようカンファレンスを行い、支援しています。その患者さん、その家族の方々が「らしい生活」を送られるよう支援の向上に努めていきます。

がん化学療法看護認定看護師 矢立 雅章

全病棟面会 お見舞い禁止 のお知らせ

当院では現在、感染予防・防犯の為、本館棟エレベーター前のドアを施錠し、面会を制限しておりますが、インフルエンザの流行により、より一層の感染予防・拡大防止のため、1/18から面会・お見舞いを全病棟お断りしております。

急を要する場合などございましたときは、各病棟にお問い合わせ下さい。また、その場合には体調を確認、マスクの着用、手指衛生など十分に行っていただくなどの予防策をとらせていただきます。

大変ご迷惑をお掛けしますが、どうぞご理解とご協力の程、宜しくお申し度致します。

早期臨床体験実習

12月4-8日の5日間、人吉医療センターにて早期臨床体験実習をさせていただきました。外来陪席、回診、救急外来見学などの院内実習、そして訪問看護、五木村診療所訪問などの院外実習をし、患者と医療者の関わり方を間近で学ぶ貴重な体験をすることができました。

院内実習では、医学の知識が現場でどのように使われているかを知ることができました。特に印象的だったのは救急外来にきた多発外傷患者の処置です。10人弱の先生方で取り囲んで緊急処置する様子は見ている私まで緊張しました。将来私も先生方と同様に働くかと思うと身が引き締まる思いがし、医学を学ぶ事に対する意欲を高める事ができました。

また、院内外実習を通して感じたのは大学病院に比べて患者の年齢層が高いという事です。緩和医療を含め、患者の見取りの時まで治療を担当する事が多いと聞きました。長期間患者と関わっていくので、患者さんとの関係をより大事にしなければ

なりません。人吉医療センターの医師や看護師が患者としっかりコミュニケーションをとり、信頼関係を築いている様子を見た事は今回私にとって大きな経験です。将来自分も患者に信頼される医師になりたいと感じ、先生方は私の目標となりました。

短い間でしたが有意義な時間を過ごすことができました。人吉医療センターで実習ができて本当に良かったです。今回実習でお世話になった方々に心から感謝申し上げます。



熊本大学医学部医学科3年 渡真利 紫音

私は今回、5日間の日程で人吉医療センターにて早期臨床体験実習をさせていただきました。この実習の目的の一つは、地域医療の現場見学を通して将来求められる医師としての能力について考えを深めることでした。私は都市部から離れた地域にあって様々な診療科を見られる中核病院に行きたいと思い、実習先としてこちらのセンターを選ばせていただきました。

短い実習期間でしたが、院内では内科診療や病棟の様子、救急外来、その他座学で学んだばかりの各種検査を実際に行う様子など、様々な場面を見学させていただきました。研修医や若手の先生方が多く、学生である私たちが快く案内してくださいました。見学中多くのことを教えていただいただけでなく、患者さんに対して冷静に物腰柔らかく接し、誰からも話しかけや

すい雰囲気をもった先生方の姿は、私の将来目指したい医師像になりました。

また院外における医療環境の見学として、訪問看護に同行する日や五木村診療所へ行く日を設けていただきました。地域の方の生活に寄り添った医療の在り方について、実際に見聞きし考え体験する貴重な経験でした。

患者としての視点も医療者としての視点も持ち合わせることができると言われる学生のこの時期に人吉医療センターで実習でき、医学に対する学習意欲がより一層強まるとともに、大変意味のある経験になったと思います。実習中お世話になった方々に、心より感謝申し上げます。

熊本大学医学部医学科3年 三川 千裕

気管挿管実習を終えて

この度の気管挿管実習に際しましては、木村院長をはじめ、ご指導いただきました麻酔科の先生方、スタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。

また、実習にご協力を頂きました患者様にも心からお礼申し上げます。

実習中は、気管挿管に必要な知識・技術を学び救命士として、医療人としての考え方が深いものとなりました。

今後は習得した知識と技術を病院前救護に活かし、地域住民の安心安全を守るために努力精進していく所存です。

本当にありがとうございました。



人吉下球磨消防組合 中央消防署
消防士長 森田 好起

救急救命士の就業前病院実習を終えて

救急救命士の就業前実習に際し、下川副院長をはじめスタッフの皆様には、大変お世話になりました。

本実習に臨む上で、傷病者の初期評価、観察スキルの向上、安全、確実、迅速な特定行為の手技習得、この二つを目標に掲げました。

実習では、症例を経験させて頂く過程で、初期評価での緊急度判断の向上、スタッフの指導を頂きながら正しい観察手技を習得し、更には、救急現場に活かせる新たな観察、処置、評価の知識を習得できたと感じています。

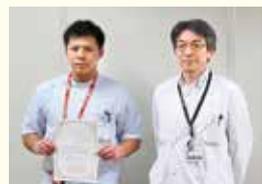
また、インホスピタルの立場から、今までとは違った観点で救急現場を見ることができ、医療機関との相互理解の大切さ、より良い連携活動について考えることができました。

特定行為についても、丁寧な指導を頂き、経験を重ねるごとに手技の向上を実感し、救急現場で実戦するにあたっての自信にも繋がりました。

160時間の実習で、身に付けた知識、技術、スタッフの皆様から学んだ医療人としての心構えを、これからの救急現場活動に活かし、地域の方々の大変な命を救えるよう向上心を持って精進します。

貴重な経験をさせていただき誠に感謝申し上げます。

人吉下球磨消防組合中央消防署
救急課 佐々木 源



**連携施設
探訪**

当院は、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して地域包括ケアを推進していきたいと考えています。
そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。今回は「グループホーム 聖心園」「小規模多機能介護事業所 聖心園」さんです。

グループホーム 聖心園 Vol.16

【施設の特徴】

認知症高齢者が自らの家で普通の生活を送ることができるような環境作りを行います。

- ゆったりと自由な暮らし
- 穏やかで、安らぎのある暮らし
- 自分でやれる、喜びと達成感のある暮らし
- 自分らしさや誇りを保った暮らし

私たちは「生活パートナー」としてこれらの実現を目指します。

【対象者】

概ね 65 歳以上で認知症があり、要支援 2 以上で、少人数で共同生活に支障がない方

【サービス内容】

－ 認知症共同生活介護－ 定員 9 名

当施設では、入居されている利用者様が日常生活を送る上で、本人が出来るところから様々な活動（洗濯たたみ、食器拭きなどの家事）に取り組んでもらっています。



外観



【地域の皆様に一言】

住み慣れた地域の中、家庭的な環境の下に心を癒し、穏やかにそして安らぎの中で過ごされるよう支援いたします。

【お問い合わせ先】

TEL : (0966) 22-7807 FAX : (0966) 22-7805 管理者 村口絹江

【訪問スタッフからのコメント】

平成 16 年に設立されたグループホーム聖心園は、廊下がとても広く車椅子でもスムーズに移動ができるつくりとなっていました。また、天井がとても高く、開放感がありました。

小規模多機能介護事業所 聖心園 Vol.17

【施設の特徴】

通いを中心に、訪問・宿泊のサービスを同じ場所、馴染みのスタッフでご利用頂くことにより、住み慣れた地域での自立ある暮らしへ向かうためのサポートを行います。

同じスタッフで 24 時間、365 日対応し、3 つの機能（通い・泊り・訪問）を柔軟に組み合わせ、利用者様をサポートいたします。通い・泊りでは、同じスタッフが対応しますので、利用者様の混乱が少なく、顔馴染みの関係を築くことができます。

【対象者】

要支援 1～要介護 5 の認定を受けられた方

【サービス内容】

・登録定員 25 名、通いサービス 1 日：15 名、
宿泊サービス 1 日：9 名、訪問

【地域の皆様に一言】

地域から寄せられるさまざまなニーズに応えるよう、取り巻く環境やその人らしさに目を向けて支援いたします。



外観



居室

【お問い合わせ先】

TEL : (0966) 24-3008 FAX : (0966) 24-3008
管理者 新嶋 照美

【訪問スタッフからのコメント】

居室は二人部屋ですが、カーテンで仕切りができるようになっており、プライベートが確保できる空間となっていました。スタッフは通い・泊りともに同じであり、馴染みの関係が築けているようで、利用者一人一人の表情がとても穏やかでした。

医療福祉連携室からちょっと豆知識

「医療費控除は領収書が提出不要となりました！」

平成 29 年分の確定申告から、領収書の提出の代わりに医療費控除の明細書の添付が必要となりました。医療費控除の明細書は、最寄りの税務署または、国税庁のホームページからダウンロードすることも可能です。

改正のポイント ※税務署ホームページより一部抜粋

- * 医療費の領収書は自宅で 5 年間保存する必要があります。
(税務署から求められたときは、提示又は提出しなければなりません)
- * 医療保険者から交付を受けた医療費通知を添付すると、明細の記入を省略できます。
(医療費通知とは、健康保険組合等が発行する「医療費のお知らせ」などです。)

領収書の紛失などで医療費控除をあきらめておられる場合には、是非ご確認ください。なお、特定一般用医薬品等購入費を支払った場合に適用されるセルフメディケーション税制を利用される場合には、医療費控除は受ける事ができませんのでご注意ください。



米多 万希子

当医院に入職し早ウン十年。
自分では信じがたい年齢になってしまいました。
重ねてゆく年齢に恥じない人生にしたいと思います。



安達 良子

5回目の年女を迎えました。悔いのないように、迷惑かけないように一生懸命頑張りますので、みなさんご指導よろしくお願いたします。



中村 伸一

ワンだふる！



浦川 智美

時の流れを感じつつ、自分なりに頑張ります。



原 真理子

老いに負けないぞー！！



米田 一恵

今年こそダイエット頑張ります！！ 犬の様に元気に走り回って仕事したいと思います。



留岡 美咲

今年はもっと成長できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。



尾方 あゆみ

第1子の出産、頑張ります！！



春口 結子

犬のように賢くたくましくなれるように頑張ります。



税所 ひとみ

毎日笑顔で過ごせますように



吉村 麻里絵

健康管理に気をつけていきたいと思います



大川内 麻耶

笑顔を忘れず、わんだフルな一年にしたいです。



赤川 里衣

体調を崩さず元気に今年1年過ごせますように



芝田 彩夏

笑顔忘れず毎日頑張ります！



内田 沙椰

今年も元気に頑張ります。よろしくお願いたします。



川崎 里奈

2017年やり残したことがあるって？ダメウーマン。やり残したことは2018年にやればいじゃない！



児玉 麻結

笑顔を絶やさず、今年も一生懸命頑張ります。よろしくお願いたします。



尾方 智子

初心を忘れずに、一年間頑張ります。



高田 要人

ケガをしない。



森下 耕靖

体調に気をつけ頑張りたいと思います。



藤吉 玲奈

毎日元気いっぱい頑張ります！



大原 竜一

今年も頑張ります！



梅木 南志

仕事以外にも色々な事に挑戦していく。

運動のススメ！ ～生活習慣病・・・その前に！！～

2月は全国生活習慣病予防月間です。これは、「一無、二少、三多」による生活習慣病予防」を基本テーマに生活習慣病予防と健康寿命の伸長を目指した活動です。

生活習慣病とは、偏った食事や運動不足、ストレス、喫煙、過度の飲酒など、好ましくない生活習慣が発症の原因となる疾患の総称です。具体的には、高血圧、糖尿病、脂質異常症などがあり、これらはほとんど自覚症状が無く、気付かないうちに進行します。そしてある日突然、心筋梗塞や脳卒中など重大な疾患を引き起こすため「サイレントキラー（静かなる殺し屋）」と呼ばれています。大変恐ろしい病気ですが、生活習慣を見直す事により、予防または進行を防ぐ事は可能です。

その対策の一つとして「運動療法」があり、1日30～60分、週3-5日の有酸素運動（ウォーキング・サイクリング・水泳・エアロビクスなど）がお勧めです。

時代は「早期発見・早期治療（二次予防）」から「健康増進・発病予防（一次予防）」へ。ウォーキングは自分の身体一つあれば出来ます！！早速今日から歩いてみませんか？

心臓リハビリテーション指導士 中矢野 幸代子

「一無・二少・三多」の健康習慣で生活習慣病を予防！
一年2月は、全国生活習慣病予防月間

「一無・二少・三多」は、「一無（喫煙）」「二少（少食・少飲）」「三多（多動・多休・多寝）」の6つからなる健康習慣です。自らの生活を振り返り、ひとつでも多くの習慣を取り入れることで、生活習慣病を効果的に予防します。

【一無】
【禁煙・喫煙】
喫煙は生活習慣病の発症を促進し、病状を悪化させ、治療費も増加させます。また、周囲にも他人にその害を及ぼすことにもなります。

【二少】
【少食】
【少飲】
【少寝】
【少動】
【多休】
【多寝】

日本生活習慣病予防協会
http://www.jshpe.or.jp/

多彩な行事食を提供しています！

クリスマス、お正月と年末年始は行事が続きますが、食事を楽しむうちのひとつですね。当院では少しでも気分を味わっていただけるよう、入院患者様へクリスマスディナーとおせち料理を提供しました。

クリスマスディナーはローストチキンをメインとし、サラダ、スープ、デザートとフルコースを1食で楽しんでいただけるよう工夫しました。デザートは低カロリー甘味料マービーを使用し、制限食の方々にも提供することが

できました。

おせち料理は朝食には雑煮・祝肴・紅白なます、昼食は赤飯をはじめ、伊達巻きや紅白かまぼこ・八幡巻き・エビ・ぶりの照り焼き・たたきごぼうなどを折に詰め、祝箸を添え新年を祝いました。各々の食材や料理に込められた意味を感じながら召し上がっていただけたのではないのでしょうか。

今年もより多くの患者様においしい食事を提供し、喜んでいただけるよう栄養管理室一丸となり頑張っていきたいと思っております。

管理栄養士 北岡 志織



クリスマス 2017



おせち 2018

運動してますか？

- ひまわり会開催 -

H29年12月22日当院の岩崎和弘理学療法士を講師にひまわり会を開催いたしました。

乳がんの治療ではホルモン療法を行うことがありますが、このホルモン療法は体内の女性ホルモン（エストロゲン）を減少するように働くため、副作用として骨粗鬆症を引き起こす場合があります。骨粗鬆症になると骨が折れやすくなり、QOL（生活の質）の低下を招きます。

骨密度向上には薬物療法や栄養療法とともに運動療法を取り入れる事で、効果を高めることができると言われています。

・・・推奨される運動として・・・

- ① 有酸素運動：ウォーキング 1日30分
- ② 筋力運動：1RMの40%の負荷で1日8-10回を週に2回
- ③ 踵落とし運動：50回 1日おき

※①～③の複合トレーニング

当日は、皆さんにも動きやすい服装でご参加いただき転倒しにくいからだを作るためのバランス運動として、「片脚立ち」や片脚を前後左右にぶらぶらさせながらバランスをとる「足ぶらバランス運動」などをおこなっていただきました。

短い時間ではありましたが、ホルモン療法が与える影響や骨粗鬆症の予防の基礎講義、運動の実践と非常に充実した勉強会でした。

また、次年度も定期的にひまわり会を開催する予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。

清流ハートクラブ「食事&座談会」開催！

今年も12/28に心臓リハビリテーション患者会「清流ハートクラブ」の食事が開かれました。年末の忙しい時期ではありましたが、21名の方にご参加いただきました。今回はお正月に近いこともあり、おせちをイメージした減塩弁当を当栄養科で準備しました。当院では、減塩指導で普段塩分2g/食以下



を目標としていますが、今回のお弁当は塩分1.8gという驚異の減塩となりました。味はだしや酢などが活かしてあり、減塩とは思えないおいしいお弁当でした。参加者も「おいしい！」「いつもとあまり変わらない、普段が減塩できていると確認できた。」など喜びの声が聞かれました。また、15分以上かけてしっかり噛んで食べましょう！との指導のもと、普段早食いの方も試行錯誤しながら食事を楽しんでいらっしゃいました。食事の後は、座談会ということで自身の体験談や病気になってから気を付けていることなどお一人お一人お話しいただき、とても有意義な時間となりました。また、「患者会に来ることで病気やその予防の再認識ができる」「毎年同じテーマでも違う内容で話をしてもらうので、ためになる」など嬉しい言葉も頂きました。

今回155回を迎える患者会ですが、今後も患者さんのため、患者さんとともに継続して行けたらと思います。

医療福祉連携室 小田 薫子

新 任 紹 介



なかむら ゆか
中村 有花 (7階・看護師)
最終卒業校：名古屋市医師会看護専門学校
趣味：旅行
モットー：強い心をもつ

自分の性格：マイペース

自分のコマーシャル：分からないことばかりで仕事に慣れるまで時間がかかるとは思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお祈りします。



よしむら なつみ
吉村 奈津美 (7階・療養介助員)
最終卒業校：球磨商業高等学校
趣味：ベリーダンス
モットー：感謝の気持ち、明るく・楽しく・親切

に！！

自分の性格：笑顔でポジティブ

自分のコマーシャル：一日でも早くお役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお祈り致します。

1月の勉強会報告

1月19日(金)院内勉強会

「消化管の救急疾患」
熊本大学大学院生命科学研究部 消化器内科学 助教
直江 英昭先生

1月11日(木)ツムラインベリオンWebセミナー 2ndシーズン

「咳嗽に関するガイドライン」
広島大学大学院医歯薬保健学研究科 漢方診療学 教授
飯塚 徳男先生